

平成28年度第5回国立市中小企業等振興会議
(第8回国立市中小企業等振興会議) 要点記録

- ◇日 時：平成29年3月15日(水) 午後7時～午後9時
- ◇会 場：市役所3階 第4会議室
- ◇議 題：「観光懇談会の提言を踏まえた中小企業振興策」
- ◇出席者：・国立市中小企業等振興会議委員 7名(6名欠席)
・事務局3名
- ◇議 事：(1) 前回会議の内容確認
(2) 最終報告(素案)について概要説明
(3)前回会議で出た最終方向へ向けた検討・確認事項
・提案(9)「国立の良さや魅力を磨き拡充する」についての検討
①「自然環境(自然、緑、並木、桜、イチョウなど)」
②「文教都市・文教地区、教育、学園都市(一橋大学、谷保天満宮など含む)」
③「閑静な住宅街、景観・環境が良い、治安が良い、住みやすい」
④その他各委員の考える「国立の良さや魅力」とその具体的施策
(4)最終報告の作成について
(5)その他
・委員からの意見書について
・事務局より提案(7)について

◇要点記録：

会 長：それでは定刻を過ぎましたので、これより第8回国立市中小企業等振興会議を始めます。

(事務局より配布資料の説明)

会 長：それでは次第に沿って進めて行きたいと思います。まず前回、第7回会議の会議記録についてですが、何かお気づきの点はございましたか。事務局の方には何か意見はございましたか。

事務局：特段意見がございませんでしたので、事務局案のままお出ししています。

会 長：それでは特に修正意見等はないようですので、このとおり公開いたしたいと思います。二点目は最終報告についてですが、最終報告の素案を事務局に作成していただきましたが、こちらの検討・確認が本日のメインの議題となります。まず、素案の概要説明から事務局にお願いいたしたいと思います。

事務局：それでは配布いたしました最終報告素案をご覧くださいと思います。表紙に書いてありますとおり、こちらは事務局が作成いたしました「素案」でございま

す。原案につきましては事務局の方で中間報告をもとに、今までの委員の皆様が議論した内容や、庁内各課へ意見照会をかけた中で前回会議までで報告に入れ込んだ方が良いと意見のあったものを入れ込んだ形で素案となっております。本日の会議でご意見を頂戴して、5月以降にでも市長へ報告したいと考えております。(以下、中間報告からの具体的な変更・修正点の説明と最終報告の構成の説明)

会 長：この会議では最終報告までどのように持っていくかを決めていきますが、最終報告がどのような形になるのかというイメージをもっていただきたいので事務局に説明していただきました。ここまでよろしいでしょうか。今日は、こういった最終報告のイメージを持っていただいたうえで、大きく抜けている本文の6ページ、提案(9)「くにたちの良さや魅力を磨き拡充する」の方法と具体的施策などを決定していくことが一つ重要な議題となります。2ページから8ページにかけて、この提案(9)以外の部分はおおよそ出来上がっているわけですが、各提案の分量としては少ないもので数行から長いものでも30行程度となっております。提案(9)については、事務局より事前に意見集約を行ってもらい皆様の意見をまとめたものを会議資料として配布いたしておりますが、その全部を提案(9)の内容に入れますとここだけボリュームが大きくなってしまいます。他の提案の分量との兼ね合いを考えると、具体的施策は4つの各キーワードにつき1つか2つにして、全体で多くとも8つにしたいと思います。それでは事前意見集約の各キーワードに沿って進めて行きたいと思います。

○キーワード①「自然環境(自然、緑、並木、桜、イチョウなど)」について

委 員：意見集約結果の上から4番目、『自然環境の良さ(歴史：谷保天満宮、近隣の遺跡)』『商業地』の両方を活かして、来街者を増加させる」が全体をまとめた形で良いと思います。

委 員：振興策なので、上から9番目、「市外へのPR」を具体化して、最終報告に盛り込められないかと思います。

会 長：事務局に聞きたいのですが、観光ガイドマップについて、どのように配布をしているのですか。

事務局：東京都の補助金を活用している関係もございまして、基本的には域外発信、国立市以外に配布するのが主となっております。東京都の観光情報コーナーを始め、都内各市や、各線沿線の他県の市、近隣の県などに配布しています。また、観光まちづくり協会を通じてJR国立駅のnonowaにあるコンシェルジュという所に置いていただき来街者の方に配布していただいておりますが、かなりの数が既にはけているようです。

委 員：そのガイドマップは市内外の郵便局に無償でおくこともできるそうなので、確認してみます。

会 長：一橋大学の入学式などで新入生に配ると、役に立つと思います。入学の際のガイドダンスで他の資料を渡しているようなので、その中に入れてもらえればよさそうですね。小平祭が6月くらいにありますので、そこで配布するコーナーを設けるのもよさそうです。他にいかがでしょう。

委 員：全体的な話になってしまいますが、国立で単独で集客になりそうなものは桜と谷保天満宮等の合格祈願のようなものがあると思っていますが、他のものは合わせ技が必要になると考えます。色んな要素が合わさって国立の魅力が出来ていると思っています。ある一つの目的だけでなく、散策しながらスイーツを楽しむといった、複数の視点からのガイドマップを作成して配布出来たら面白いかなと思います。ターゲットをお年寄りに設定したり、若い女性にしたりなどいくつかテーマに沿ったマップが作れるといいのかなと思います。

委 員：「自然環境を活用して来街者を増加させる」の具体的施策に「谷保、矢川の自然を国立駅でPRする」とありますが、やるならば国立駅だけではなく谷保駅、矢川駅でも行った方が良いのでは。

会 長：ここで自然環境といっても、南部の自然や大学通りの自然などいくつか考えられるので、整理が必要かもしれませんね。

委 員：あくまで提案(9)は施策「PR活動を強化する」の中の一部なので、これら挙げられた意見をどのようにPRしていくか、という視点を取り入れるべきだと思います。また、施策「景観美化ともっと住みたくなる街づくりを促進する」の方や提案(1)「住民による四季を通じた美しい街づくりの機運を醸成する」に入るべき提案も多くあるので、ここでは具体的な中身ではなくPR方法等について入れるべきではないかと思います。

委 員：例えば観光まちづくり協会の大学通りの桜のライトアップ企画が行われますが、これなんかはまさにこの提案の具体的施策ですよ。

委 員：昼だけでなく夜にも桜をアピールできるのはいい企画なので長く続けばいいですよ。

会 長：時間の関係もありますので、先にキーワード2以降について話し合いたと思います。

○キーワード②「文教都市・文教地区、教育、学園都市(一橋大学、谷保天満宮など含む)」

委 員：私は、中小企業の振興には若い世代が必要だと思います。ではどうすれば国立に若い世代が増えるのかを考えたところ、国立が文教地区で教育水準も高いイメージをPRすれば、子供を持つ若い世代が集まるのではないかと思いました。実際に高い教育水準を確保するためには、塾などに通っていない子供に、有償で人を雇って補習を行うなどの底上げが必要だと思います。かなり長い視点で見なければ

いけないですが。

会 長：重要なことだとは思いますが、具体的な施策がもう少しはっきりしていると良いと思います。

委 員：誰が教えるのか、どのようにやるのか、補助金は出るのか、色々考える必要がありますが、良い提案だと思います。

委 員：この意見は提案(6)の方に具体化して入れ込めれば良いと思います。

会 長：金子委員の意見は前の方の提案を補強するような意見でしたので、そちらの方に入れ込めればと思います。他に意見がないようでしたら次のキーワードに進めたいと思います。

○キーワード③「閑静な住宅街、景観・環境が良い、治安が良い、住みやすい」

会 長：三多摩地区連携ツアーというものがありますが、これはどのようなものでしょうか。

委 員：国立市単独だと弱い部分もあるため、それを補うような連携をするということだと思います。二つ目のガーデンコンテストは提案(1)に入れるべき内容だと思います。

委 員：事前の意見集約で、このキーワード③については考えられませんでした。閑静な住宅街や治安の良さというのは、そのほかの活動をしてきた結果としてできたものであって、何か施策を考えて磨き拡充するものではないと思います。

会 長：例えば空き家の活用なんて言うのも中小企業振興策として考えられますが、結果として空き家が犯罪に使われることを防ぎ治安を良くすることに繋がりますね。このキーワードは確かに具体化しづらく、無理にここから提案を出す必要はないかもしれません。

○キーワード④「その他各委員の考える『国立の良さや魅力』とその具体的施策」

会 長：色々意見が出されていますが、事務局より「旧駅舎」の活用が挙げられていますね。

委 員：旧駅舎の活用は実現性もありますし、うまく活用が出来れば集客に有効的だと感じます。

会 長：この旧駅舎の活用は取り上げる必要があると思います。何らかの形で取り入れたいですね。

委 員：これまでのキーワードの意見すべてに「ツアー」が入っていますね。国立の良さや魅力をうまくからめたツアーの開発というのはよい PR 方法になりそうです。その中の一つにロケ地ツアーがありますが、どうでしょうか。

委 員：立川が聖地巡礼を取り上げて集客を上げているというのは聞いたことがあります。普通のお茶屋さんで、立川市が聖地となっているアニメとタイアップした商品を

売り出して、それが話題になっているそうです。

委員：アニメ関係は強いですね。

委員：少し年齢が高めの方の集客にはあまり有効ではない気もしますが。

委員：国立も「たまらん坂」が、忌野清志郎が近くに住んでいたことで聖地となっています。八王子でお墓参りをしたのちに国立を訪れるのが一つのツアーのようになっているようです。

委員：そうなるとお土産があれば商売になりそうですね。また、中島委員が、商業地と南部の自然を活かした回遊、とおっしゃっていましたが、ツアーと通じるものがありますね。府中本町などの南武線の駅で国立の飲食店を紹介するポスターが貼られたり、JRでも色々とやっているようです。

委員：出来るだけ安く、いろんな視点やターゲット、目的を持ったツアーが出来れば面白いですね。

委員：ツアーで国立に人が来てくれれば、国立はイメージが良いですから、それがPRになりますよね。

会長：市内周遊ツアーのようなものを施策に入れるのはよさそうですね。現在取り上げる予定の意見は、旧駅舎、市内周遊ツアー、学力の向上施策(提案(6)に入れる)、市外へのPR、南部の自然といったところです。

委員：南部の自然に関して、市は農業にも力を入れていますから、それも活かした形に出来るといいと思います。

会長：南部の自然、歴史、農、後は谷保天満宮などといったものをまとめて、南部の魅力として施策に入れたいですね。文言も「南部の自然」ではなく、少し変えていきたいと思います。それでは今挙がった「旧駅舎」「市内周遊ツアー」「市外へのPR」「南部」、この4つのテーマで事務局に文章化していただきたいと思います。

○その他：委員の意見書

委員より、これまでの議論の中で取り上げることが出来なかったが重要だと考えるテーマを、意見書という形でご提出いただいたので、資料に添付するとともに事務局より紹介をした。(外国人対応に関して、民泊に関して)

委員の意見は、議論をしていないため最終報告の本文には載せられないものの、重要な意見であるので、「おわりに」の項目で触れることとした。

委員の意見書に関して各委員からの意見

委員：国立市は文教地区なので宿泊施設を作れないと思いますが、民泊で使用する施設は宿泊施設扱いにはならないのですか。

事務局：そのことに関して、文教地区指定の他に、特区にしなければならぬのかなど色々

意見が出てきていますが、国の法律が整備されてきていることや、観光懇談会の提言にも宿泊施設について必要とされており、当会議でも回遊性や経済面について宿泊に関するいくつかの意見が出されましたがそれらを深めることができませんでした。そのような状況の中で問題提起だけでも最終報告に入れられないかと考えています。規制など細かな部分までは踏み込めないのが現状です。

事務局：補足させていただくと、民泊法案が議論されている中、いかに既存の宿泊施設が打撃を受けないかが議論されているようです。軽井沢などでは、既存の宿泊施設の反対から民泊を行わない流れになっているようですが、国立には既存の宿泊施設がないのでそのような議論にはならないことと、中小企業振興としては宿泊が重要であることがこの会議でも話し合われたことから、条件整備など課題はあると思いますが、この会議でご提言頂けるのであれば、民泊を積極的に活用していくような意見を出していただければ、市の内部の調整が一つ前へ進むのではないかと思います。

委員：私も、国立市としてもこの会議としても、民泊について積極的に検討していくべき、というようなニュアンスの字句を入れることを提案します。

委員：反対する宿泊施設がないのはある意味チャンスかもしれません。

委員：民泊に空き家が活用できればいいかもしれません。また、市内に企業の社宅が空いているようですので、そこも活用できるかもしれません。

会長：では民泊についてはそのような形で入れられると良いと思います。外国人対応についてはどうですか。

委員：提案(7)「観光ホームページを充実させる」の中に、ホームページの多言語化対応を入れられるのではないかと思います。

会長：これは教育とも関係がありますね。

委員：奈良なんかでは標識に4か国語使われていたりしますね。日本語と英語表記以外の+αが必要な時代になってきていますね。

事務局：新宿バスタにある外国人向けの都内の情報が見られるものがありました。国立の情報は載っていませんでした。管理している人にお話を伺いましたが、外国の方の国立の認知度は無い、とおっしゃっていました。その一方で、公民館で国際交流の活動を行っている方にお話を伺ったところ、一橋大学の留学生に関しては、その友人や家族が国立市内を観光することに関しては、ニーズがある、とのことでした。何人の留学生がいるか分かりませんが、外国人観光客がいないのにおさんぽノートの英語版のニーズが高かったことから、留学生がその要因であると考えられ、どこにターゲットを絞るかを考えると、留学生、その友人といったところが挙げられると思います。その辺りを加味して報告に入れさせていただきたいと思います。

○その他：事務局より提案(7)について

事務局：Wi-Fiの整備に関して、先日市役所一階でfree Wi-Fiが使えるようになりました。

また、公民館、図書館でお使用できるようになっており、各小中学校にも防災目的ではありますがfreeのWi-Fiが整備されています。産業振興課でも観光的視点からのWi-Fiの設置を検討するよういわれており、提案(8)「Wi-Fiの環境整備をする」について記述を加えさせていただきたいと思います。

○今後のスケジュールについて

次回会議は平成29年5月24日(水)19:30(第4会議室)で開催することが決定した。次回会議が第3期中小企業等振興会議としては最後の会議となる。次回会議に向けて、今回会議で決定した内容を最終報告素案に反映し、委員各位へ送付、修正意見を募り再度修正する。この過程を数回行い、次回会議には最終報告案を完成に近い形にしたうえで開催することとなった。